

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-4-2 経営安定化の支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 中小企業課長 野坂 一弥 電話番号 0852-22-5881

事務事業の名称	中小企業に対する支援体制整備事業	
目的	(1) 対象	県内の中小企業者等
	(2) 意図	経営課題の解決や経営状況の改善に向けた取り組みを行う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 高度な専門性や先進性を求める経営課題に対応するため、中小企業に対し、専門家を派遣する。 雇用の維持等経営の安定化を図るため、経営状況の極めて厳しい中小企業に対し、経営安定支援専門員を配置して支援する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	県内中小企業の経営改善や新規事業に取り組む年間事業所数	目標値	200.00	200.00	
式・定義	経営革新計画策定事業所数、地域資源産業活性化事業の申請事業所数、創業計画策定事業所数の合計値	実績値	0.00	215.00	146.00	119.00		件
		達成率		107.50	73.00	59.50		%
式・定義	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値	0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	145,141	155,991
うち一般財源(千円)	145,141	155,991

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・昨年度を上回る相談に対応できたが、成果指標実績にはつなげることができなかった。
 経営力強化アドバイザー派遣企業数383社（派遣回数1,422回）、集団指導（セミナー開催）回数6回（参加者106人）
 経営安定支援専門員対応企業数185社（対応回数751回）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・特定分野の高度・専門的なアドバイスや経営安定支援専門員の支援により、経営改善に向けた効果的なサポートができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・相談対応の結果が事業申請等につなげていない

②困っている状況が発生している「原因」

・相談内容の多様化（経営の安定化を図る案件の増加）
 ・相談内容の複雑化（高度で専門的な分野の増加）

③原因を解消するための「課題」

・金融機関、関係支援機関との連携による支援体制の運用により成果指標実績につなげることが必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・平成26年度に施行された小規模企業振興基本法及び小規模支援法により、小規模企業の持続的発展や伴走型支援の体制整備が求められることとなった。
 ・経営革新等の事業の成長発展への支援のみならず、技術・ノウハウの維持・向上、安定的な雇用の維持等に取り組む事業の持続的発展への支援を図っていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）